

株式状況

発行可能株式総数	19,900,000株
発行済株式総数	11,960,000株
株主数	8,918名

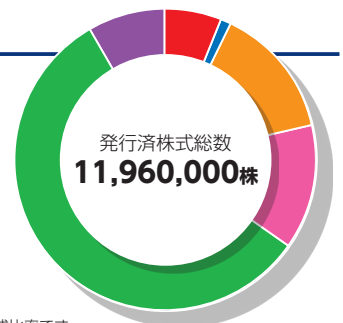
大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
平澤 創	4,749,160	43.23
株式会社レノ	985,650	8.97
RBC IST-OMNIBUS 15. 315 NON LENDING-CLIENT ACCOUNT	472,260	4.29
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	353,800	3.22
MSCO CUSTOMER SECURITIES	228,699	2.08
吉本興業株式会社	206,870	1.88
DEUTSCHE BANK AG LONDON-PB NON-TREATY CLIENTS 613	171,840	1.56
CBNY-NATIONAL FINANCIAL SERVICES LLC	144,500	1.31
田中治雄	139,500	1.26
三菱UFJ信託銀行株式会社	135,000	1.22

※当社は自己株式(975,480株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 ※持株比率は自己株式を控除して計算しています。  
 ※持株比率は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

所有者別分布状況(%)

所有者	構成比
金融機関	6.16
証券会社	1.19
外国法人等	14.24
その他法人	13.19
個人・その他	57.07
自己名義株式	8.16



※発行済株式総数11,960,000株の構成比率です。  
 ※構成比の表示単位未満の端数は、四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)

**同連絡先**  
 電子公告  
<http://www.faitth.co.jp/ir/koukoku/>  
 ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

公告方法

お知らせ

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引先の口座管理機関(証券会社等)へお問合わせください。)

免責事項

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。  
 本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



株式会社フェイス

〒604-8171 京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町566-1 井門明治安田生命ビル  
<http://www.faitth.co.jp/>  
 お問い合わせ先 TEL.075-213-3933 FAX.075-213-3833



ウェブサイトのご案内

フェイス・グループ各社のサービスや注目のコンテンツ情報、最新トピックス等を掲載しています。

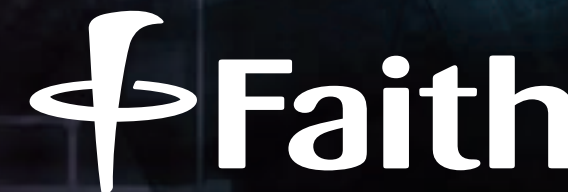
<http://www.faitth.co.jp/>



facebookフェイス公式ページのご案内

フェイス・グループのニュースリリース、最新コンテンツ情報などを随時更新しています。

<http://www.facebook.com/faitth.jp/>



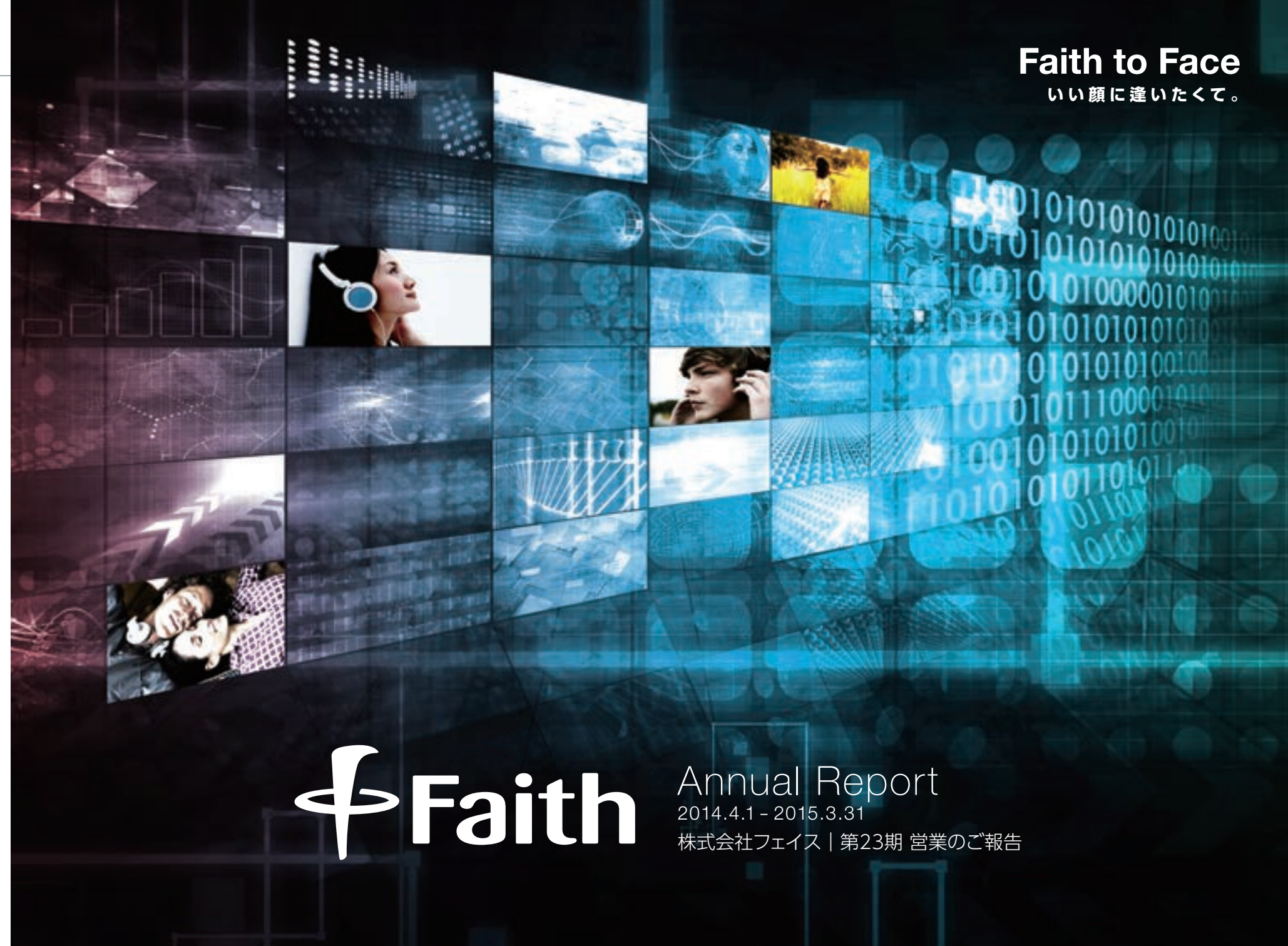
Annual Report

2014.4.1 - 2015.3.31

株式会社フェイス | 第23期 営業のご報告

Faith to Face

いい顔に違いたくて。



## トップメッセージ

驚きを世界に——  
メディア、カルチャー、100年先をDesignする音楽の届け方が大きく変化  
新しい時代の幕開けへ

音楽CD販売市場はさらに縮小し、かつての枠組みとしては、さらに悲観的な状況となりました。しかし、それは音楽の届け方そのものが変わってきたことをより明確に示しているにすぎません。従来にはない、まったく新しい産業を興すに適した時期にいよいよ突入しました。この変化こそがチャンスであり、次代のメインプレーヤーとなるコンテンツ配信モデルを創出し、成長させる道筋をつけること、これがもっとも重要な視点です。

ワンプラットフォームが  
新たな価値を創造

当社グループは、この来たるべき新しい時代を見据え、早い段階から、「マルチデバイス×マルチコンテンツによる新しい配信プラットフォーム」の創造に努めてきました。その1つとして、アーティストとファンをダイレクトにつなぐ、画期的なプラットフォーム「Fans」をスター

トさせています。インディーズをサポートするチューニングから、メジャーアーティストでも使いやすいサービスへと機能向上を図り、本格立ち上げた今、プロモーション活動を開始しています。

もうひとつ、店舗ソリューションサービス「FaRao PRO」をリリースし、同サービス向けタブレットチューナーの販売も開始しました。業界最多となる3,000以上の多彩なチャンネル、店舗のシーンに合わせた「音楽でおもてなし」という分かりやすさを前面に出した訴求活動を展開していますが、これは単なる「店舗用BGM」ではなく、店舗ブランディングを高めるためのサービスや機能、バックオフィスアプリなどといった店舗ソリューション機能を総合的に提供するほか、「FaRao PRO」とお客様のスマートフォンを音楽でつなぎ、来店客だけが得られるポイントやクーポンなど様々な特典の付与も行う、これまでの常識を超える店舗送客のためのプラットフォームとなっています。当社グループのグッディポイントが展開するポイントサービスを活用いた

くだけでなく、自社ブランドのポイントシステムを希望する店舗にはOEM提供、他社が展開するポイントシステムを利用しながらの連携も可能としています。あくまで、店舗とユーザー双方にメリットのある送客プラットフォームを提供することが当社グループの仕事であり、特定のサービスを売り込むことが目的ではないからです。同様に、タブレットチューナー販売もプラットフォーム普及の一助であり、すでに流通している業務用タブレット端末と提携しながら、プラットフォームを展開させるタイアップも視野に入れ、普及拡大を目指していきます。

さらに、教育系プラットフォームの創出にも着手しています。2020年には、デジタル教科書へ移行すると言われる中、教科書の中身、カリキュラムの作り手は不変だと思われませんが、コンテンツ配信

のプラットフォーム構築は新たな取り組みであり、ここもまた未開拓の領域です。当社グループでは、これまで蓄積してきたノウハウ、日本コロムビアが有する副教材への楽曲提供等を通じ培ってきた学販ルートとのつながりなどを組み合わせ、新しい化学反応を起こす取り組みにも積極的に挑戦していきます。

キーワードは「海外」  
新たなプラットフォームを世界へ

当社グループは、「あるものを追う。ないものを創れ。」の精神のもと、誰も手がけていない、日本初、世界初のサービスを創り、未開拓市場を攻めていく姿勢を貫く経営を実践しています。

かつて、着メロが世界100カ国以上に広がったのは、わずか3年程度のことでした。ひとところポッと火がついたら、

世界的に火がつくのです。今回はそういった感覚がいくつもあります。世界の中のフェイス・グループという企業を見て、今後、どう成長させていくべきかそのストーリーがもう一度見えてくる、世界がターゲットになってくるという感覚です。

2015年3月期は、日本コロムビアが当期純損失を出し、連結業績にも多大な影響が出る結果となりました。当社グループ編入以降、「Not yet」や「こびとづかん」など、神風的にヒット作に恵まれたこともあり、市場縮小スピードから鑑みた想定より、長く持ち堪えたという印象です。これを機にコンティンジェンシープラン

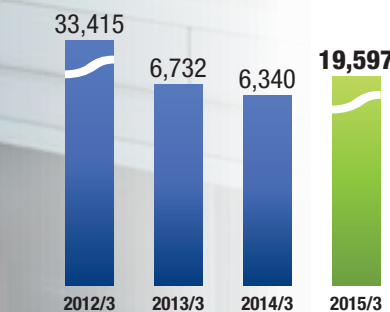
(緊急時対応計画)を発動し、ここを底として、有用な資産を活用しながら、新たな成長を目指す、再生の道を進ませます。また、フェイス本体でも、技術者不足が顕著化する事業環境の中で、事業の選択と集中を進めることが、結果的に収益化を早めることになるとの考え方に切り替え、翌期はV字回復を描き始める期へと転換を図ります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの成長のポテンシャルに注目いただき、次なる開花にともに立会い、ともに歓喜を共有いただけるよう、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

日本初、世界初のサービスを創り、  
未開拓市場を攻めていく姿勢を貫きます

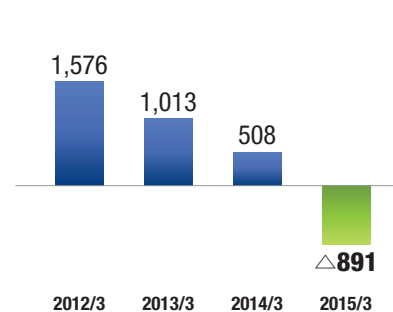
## 連結売上高

(単位:百万円)



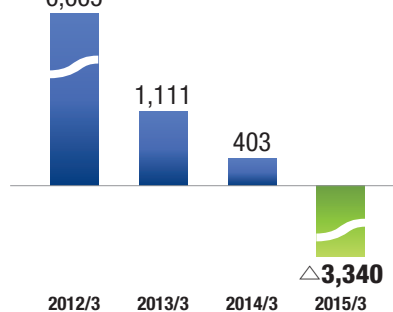
## 連結営業利益

(単位:百万円)



## 連結当期純利益

(単位:百万円)



代表取締役社長

平澤 創

# FaRao PRO

## 「音楽でつなげる、世界につながる」 店舗ソリューションサービス

五感マーケティングを活かした、あらゆるソリューションを提供するFaRao PRO。BGMサービスとしての音楽による店舗づくりをはじめ、来店客のスマホと店舗を音楽でつなげる新たなO2Oの仕組みも展開。2015年3月にはFaRao PRO専用タブレットチューナーを販売開始したことでより手軽な導入・設置が可能となり、個店からチェーン店まで利用店舗を拡大しています。地方営業代理店とのパートナーシップによる営業・音響工事・メンテナンス網も確保し、日本全国、そしてグローバルへの更なる拡販を目指します。

### バリエーション豊富な音楽チャンネル

FaRao PROは大手レコード会社の音源を使用し、最新のJ-POP、洋楽、歌謡曲、ジャズ、クラシック、まで音楽のオールジャンルを網羅。業界最大級の3,000以上のチャンネルはテーマによって細かく分類され、他社にはないレアな音楽ジャンルを採用しています。専属選曲スタッフによる、お店の雰囲気合わせたオリジナルチャンネル作成も好評を博しています。

### 店舗ソリューションを実現

複数店舗で同じBGMやアナウンスを流すことができる一括管理サービスや、シフト管理、多言語通訳などの店舗運営支援アプリを導入し、順次追加しています。FaRao PRO設置店に来店したお客様に音楽データやクーポン等をプレゼントできる機能など、従来のBGMサービスにはない、ワンストップで多面的に店舗の業務支援ができるサービスモデルを実現しました。



### メンタルヘルス・オフィス環境改善

「ストレスチェック義務化法(改正安衛法)」(2015年12月施行)に伴い、従業員のメンタルケアを目的とした職場改善への関心が高まっています。このような企業のニーズを基に、FaRao PROでは、専門家の監修によるメンタルケア専用の音楽チャンネルを用意しました。食堂や休憩室、仮眠室など、仕事の合間に音楽でリラックスできる環境づくり、工場や倉庫、営業所などオフィス業務の効率向上改善に貢献します。

**INFORMATION**  
FaRao PRO オフィシャルサイト  
URL <http://www.faraopro.jp/>

### FaRao PRO 担当者インタビュー

上席執行役員／第一企画営業本部本部長 殿村 裕誠



## BGMを含めた総合的な店舗ソリューションを実現していきます。

良質な音楽を届けるべく開始したFaRaoは、日本で初めて<sup>(※1)</sup>メジャーレーベルの楽曲を配信する音楽ストリーミング<sup>(※2)</sup>サービスであり、おかげさまで幅広いご支持をいただきアプリのダウンロード数が伸びています。世界的に見ても、無料や定額で全曲を聴くことができるストリーミングによる音楽の聴き方は大幅に伸びており、日本でもダウンロードによるデジタルコンテンツ利用から、ストリーミング音楽配信への移行が進んでいる状況です。この度サービス・インした業務用サービスFaRao PROは、個人向けのFaRaoの普及にも関係しています。FaRao PROを利用し店内で音楽を流すと、来店客はスマホで曲名を知ったり、店内で流れる音楽を持ち帰ったりクーポンを入手したりと、単なるBGMサービスを越えた、音楽を活用する来店誘導やリピーター増加につながる仕組みを備えています。

FaRao PROは、コンセプトや客層が細分化している店舗の細かいニーズに応えるために、現在

3,000チャンネル以上を取りそろえています。従来のBGMサービスと異なり、インターネットはチャンネル数に上限がありません。配信と放送のハイブリッドモデルの実現によって最新ヒット曲を日々更新しており、専任の編成チームによる店舗のコンセプトに沿ったオリジナルチャンネルの提供は、大変好評をいただいています。チェーン店の「全店の音楽を統一してブランディングしたいけれど、地域や客層によって細かく調整したい…」、こういったご要望に対して、集中管理機能やタイマー機能、アナウンス等の差し込みで多数のチャンネルを有効活用いただけるのもFaRao PROの強みです。

さらに、軽量のタブレットですべてを完結できることは最大の武器であると考えています。設置は専用タブレット本体をインターネットとアンペアスピーカーにつなげるだけなので、工事不要で誰でも簡単に開始できます。端末トップ画面には会計や勤怠管理、在庫管理、貸切パーティー時に役立つエンタメ系アプリなどを搭載しており、この特長

は、様々な業種の代理店や店舗にも注目され、業界の構造を変える可能性があるサービスとして手応えを感じています。今後さらにラインナップを拡充するとともに、店舗の運用に役立つ様々なサービスを提供する企業様とのコラボレーションも推進していきます。

BGMマーケットの拡大という意味では、従来BGMの参入が難しかった観光バスやレンタカーなどの移動体や、特設イベントなどの不安定なWi-Fi環境でも音楽が継続的に再生する機能を搭載しています。2015年12月よりストレスチェック義務化法が施行されるため、一般企業からもオフィス環境改善のためメンタルヘルス向上に貢献するBGMサービス導入の需要が増えるでしょう。海外市場も含めて、今後も積極的に事業領域を広げていきたいと考えています。

FaRao PROは、今後も様々な店舗ソリューションを実現しながら活用領域を広げ、BGM市場の拡大と活性化を実現していきます。

※1 フェイス調べ

※2 ストリーミング: インターネットなどのネットワークを通じて映像や音声などのデータを視聴する際に、データ受信と再生を同時に行う方式。



## 多彩なアーティスト活動をワンストップで運用できる アーティストサポートプラットフォーム「Fans」を本格提供開始！

アーティストの活動に最適な機能をフルサポートする「Future Artist Network Service」(Fans'(ファンズ))を4月28日より提供開始しました。フェイスが無償<sup>(※)</sup>提供するアーティスト向けプラットフォームで、サイトやグッズ販売、ファンクラブ、ソーシャルメディア連携、eチケット販売などアーティスト活動に必要な機能をワンストップで利用できます。今後は、国内最大級のアーティストプラットフォームを目指します。

URL <http://www.futureartist.net/>

※グッズ販売、ファンクラブ課金、ダウンロード販売、チケット販売などはサービス手数料がかかります。



## ニンテンドー3DS用ソフト 『すみっコぐらし ここがおちつくんです』の 販売本数が12万本突破

人気キャラクター「すみっコぐらし」のニンテンドー3DS用ソフト『すみっコぐらし ここがおちつくんです』を日本コロムビア株式会社から2014年11月に発売、販売本数12万本<sup>(※)</sup>を突破しました。目立つことが苦手で、すみっこにしているのが大好きという日本人の共感を呼び性格設定のキャラクターで、子供から大人まで幅広い層に支持されています。なお「すみっコぐらし」および「ほっぺちゃん」を題材にした、ニンテンドー3DSの“テーマ”(HOMEメニュー着せ替え機能)を2015年5月13日より配信しております。



© 2014 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.  
© 2014 NIPPON COLUMBIA CO., Ltd.  
※2015年5月末時点

## オンラインのピアノ・スクール 「清塚信也ピアノアカデミー」を開講

バラエティ番組出演や映画俳優としても話題を集める人気ピアニストの清塚信也を迎え、Fans'を活用するオンラインのピアノ・スクール「清塚信也ピアノアカデミー」を開講しました。毎月1回、フェイス南青山のFutureSEVENにて受講生を集めた公開形式のピアノ・レッスンを開催、その模様をインターネット生配信し、レッスン映像は復習版としてオンデマンド配信しています。



URL <http://kiyozuka-piano.academy/>

## 先生と保護者をつなぐ、 子どもの見守りサービス「mimory」開始



URL <http://mimory.net/>

園施設と保護者をつなぎ、様々な角度から“子どもを見守る”機能を集約したサービス「mimory(みもりー)」を開始いたします。行事の出欠連絡や落し物連絡、持ち物のお知らせなど簡単に一斉告知できる連絡帳機能、日中の園での様子を保護者と共有できるタイムライン機能で園と保護者とのコミュニケーションの活性化をサポートします。園施設で練習している歌や絵本等の教材情報を家庭にも伝え、販売することで親子のコミュニケーションにもつなげる事ができます。今夏より順次サービスを開始していきます。

## 会社概要

(2015年3月31日現在)

### 株式会社フェイス

事業内容	コンテンツ配信プラットフォームの開発 およびビジネスモデルの構築
設立	1992年10月9日
資本金	32億1,800万円
上場取引所	東証1部(証券コード4295)
従業員数	152名(連結405名)

### 取締役および監査役

代表取締役社長	平澤 創
取締役	矢崎 一臣
取締役	佐伯 次郎
取締役	佐伯 浩二
取締役(非常勤)	樋口 泰行
常勤監査役	土屋 文男
監査役	清水 章
監査役	菅谷 貴子

※ 樋口 泰行氏は社外取締役であります。  
※ 清水 章氏および菅谷 貴子氏は社外監査役であります。

### アドバイザー・ボードを構成する社外有識者

島田 精一	元住宅金融支援機構 理事長/日本ユニシス株式会社 特別顧問 スルガ銀行株式会社 社外監査役 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団 評議員/学校法人津田塾大学 理事長 国立大学法人千葉大学経営協議会 委員・学長選考委員 学校法人根津育英会 評議員/武蔵学園後援会 副会長 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 評議員 公益財団法人日伊協会 副会長/日本ヴェルディ協会 理事/東京二期会 理事
南部 靖之 堀 裕	株式会社パソナグループ 代表取締役グループ代表 堀総合法律事務所 代表弁護士/日本ローエイシア友好協会 常務理事 内閣府・公益認定等委員会 委員/みずほグループ各社 監査役 在日ロイヤル・ダッチ・シェルグループ各社 監査役 国立大学法人千葉大学 理事・副学長、経営協議会 委員 サハリンLNGサービス株式会社 監査役 公益財団法人国連大学協力会 監事 公益財団法人沢沢栄一記念財団 理事
村瀬 清司	元社会保険庁 長官/企業年金連合会 理事長 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 非常勤顧問

### フェイス・グループ

コンテンツをユーザーに届けるためのあらゆる機能を有し、ワンストップサービスとしてプラットフォーム化できる企業グループです。



※本文書に記載されている商品・サービス名は株式会社フェイスの日本またはその他の国における商標または登録商標です。